神戸市会議員・灘区選出

いさやま大介

活動報告

プロフィール

市政を身近に

教員の両親から生まれる。
神戸大学発達科学部を卒業
中学から大学までは水泳部のキャプテン（現在、神戸市水泳協会副会長）
灘区の松蔭中学と神戸海星中高等学校で１８年間教員を勤める。（理科と化学を教える）
地元少年野球部の元コーチ、地域こども水泳教室の現コーチ

2015 年、19 年、23 年神戸市会選挙連続当選、現在３期目
都市交通委員会委員長（2025 年６月現在）
議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。
教員経験を活かし教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。

発行元
こうべ未来市会議員団
〒650-8570　神戸市中央区加納町 6-5-1 1 号館 27 階
TEL：078-322-5844　FAX：078-322-6161
Vol.39

５月議会にて、一般質問に立ちました！

民　生委員・児童委員の活動について

質問のポイント

- ☑「地域のつながり、地域力の強化」、「さまざまな課題を抱えた人びとの支援」などに取り組む「民生委員制度」は平成 29 年に 100 周年を迎えている。
- ☑ 2025 年に一斉改選を迎える民生委員・児童委員の成り手不足問題はどうするのか。
- ☑ 多世代交流など、活動内容の充実についてどう考えているのか。
- ☑ タブレット端末を活用して民生委員活動を DX 化する狙いと課題はどのようなものか。

○ 久元市長：民生委員・児童委員の成り手不足の背景として、推薦母体でもある地域活動団体も成り手不足の問題を抱えているということ、
複雑・多様化する福祉課題を背景に活動の負担が増しているということが挙げられると同時に、活動があまり知られていないということも原因として挙げられるのではないか。
これまで、実費弁償額を政令市最高水準まで増額し処遇改善を行ったほか、
業務の負担軽減など活動しやすい環境の整備に取り組んできた。
活動の負担軽減と担い手確保のため、本市独自の民生委員支援員制度も設けている。
民生委員活動に関心をもってもらえるよう、対応を強化していきたい。

▸多世代交流ふれあいスペース

○ 副市長：民生委員・児童委員には、地域の高齢者や障害者に加え、子供や生活困窮者、独り親世帯などに関しても身近な相談相手、また支援へのつなぎ役として積極的に関わっていただきたい。
また、民生委員の理解が得られるように、意見・提案を機能の改善や運用の見直しにつなげ、
時間をかけてこのDX化を進めていきたい。

議会風景

▶ 令和７年 ６ 月 一般質問　▶ 同左　▶ 令和７年 ７ 月 都市交通委員会

海外移住と文化の交流センターについて

質問のポイント

- ☑「海外移住と文化の交流センター」は、2008 年ブラジル移住 100 周年に合わせて工事が着工され、翌年にリニューアルオープンした
- ☑ 元々は 1928 年に「国立移民収容所」として開設され、ブラジルなど中南米諸国への移住のための出国手続きや健康診断、語学研修など移住前の準備を行う施設であり、延べ 25 万人がここに滞在し移住していった。
- ☑ 今後の施設の保存および活用についてどうしていくのか。

○ いさやまの意見：今年は日本とブラジルが外交関係を樹立して 130 周年にあたり、秋篠宮の次女佳子さまが、6月4日から 17 日の日程でブラジルを公式訪問されました。事前に同センター内にある「移住ミュージアム」にて、日本のブラジル移住の歴史などを学ばれるなど南米移住に関して日本で現存する唯一の施設としても大切と考えます。センターの機能として、移住ミュージアム事業、在住外国人支援事業、国際芸術交流事業の三つの柱からなり、指定管理の共同体はそれぞれ特徴を有する団体で構成されています。

ゆかりのあるブラジルにちなんだイベントを開催し、「海外移住と文化の交流センター」の周知と訪問機会を増やすべきと考えます。市内の喫茶店等に協力してもらい、センター1階のカフェスペースを有効活用すること、修学旅行の行先として積極的に PR する等、経済観光局との連携を提案しました。

またセンターには「芸術を活かした創生の広場」があり、「C.A.P.（NPO芸術と計画会議）」を中心として芸術家たちが集まり様々な活動が行われています。北野エリアに点在する「Artist in Residence KOBE」、神戸北野美術館、プロジェクト「KITANO THE MAGNET」などのアーティストが活躍する拠点との連携を密にする取り組みを、神戸市としても支援・協力するべきと考えます。

神戸港開港以来の国際都市として継続し、神戸空港が国際化した本市において、この施設があることに誇りをもち、光をあて維持するために、施設においても収益化できる仕組みを、今後構築して欲しいと考えます。

積極的な視察活動を継続しています！

神戸市西区にある兵庫県盲導犬協会へ視察に行き、盲導犬1頭あたりの育成費用の工面や育成期間などのお話をお聞きしました。

全国で 768 頭、兵庫県で 28 頭いますが諸事情により減少傾向だそうです。

ICT を活用して道案内を行う方法含め、多岐にわたる政策を調査していきます。

★ 定期的に市政報告会を開催しています。電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

いさやま大介事務所　〒657-0816　神戸市灘区国玉通 2-2-8　まどかビル２階東
TEL：070-1930-2368　FAX：078-271-3707　mail:info@isayama-daisuke.jp

討議資料